

TEL 233 340 000
 FAX 224 313 684
 Email gakkol@jpschool.cz

VLTAVA

学校教育目標

「自ら学び 共に学ぶ 豊かな心と国際性あふれる たくましい児童生徒の育成」

目指す子ども像

「かしこい子・やさしい子・たくましい子・世界で生きる子」

仲間との出会い

(1月24日朝会講話より)

今日は、仲間との出会いの話をしましょう。仲間つまりクラスのお友だちとは毎日いっしょに生活していますから、毎日の出会いと言うわけですが、毎日いっしょだと色々なトラブルが起こります。今日はみんなが楽しく生活できるためのお話をしましょう。

【自分メッセージ】まず、トラブルが起こったときに心がけることを話します。たとえば、いやなことを言われたり、されたり、したくないことを頼まれたり、と教室ではいろんなことが起こります。そんな時にみんなはどんな行動をとっていますか。実は、二つのタイプがあります。攻撃する人と我慢する人です。攻撃的な人は、いやなことがあると、すぐに言い返したり、けんかをしたり、よくないけど手や足が出たりする人もいるかもしれません。もう一つのタイプは、じっと我慢する人。攻撃的な人は、とても目立つのでトラブルになっているのがわかりやすい。でも、我慢してしまうのも決していいことではありません。我慢ばかりしていると自分にストレスがたまります。こんな困った場合には、攻撃でもなく、我慢でもなく、きちんと自分の気持ちを相手に伝えてください。これを「自分メッセージ」と言います。「こんなことされたんだけど、ぼくはいやな気持ちになったよ」「こんな風に言われるのはいい気分じゃない」と自分の気持ちを相手に伝えてください。黙り込むのもよくないし、「お前は馬鹿だ」みたいに相手のことを責める「あなたメッセージ」はけんかになるだけです。困った時には、ぜひ自分の気持ちを伝える「自分メッセージ」を相手に送ってください。

【初めての出会い】次に他人とのお付き合いについてです。人はひとつの出来事で、すぐに相手のことを決めつけてしまいがちです。お友だちとの間でいやなことがあったり、うまくいかなかったりした時に、「あの人はこんな人だ」と決めつけていませんか。これが「悪口」につながります。

毎日が初めての出会いだと思って笑顔で話しかけてください。すると相手の中に新しい発見があります。人は、自分の気持ちをわかってほしいと強く思いますが、相手の気持ちはあまりわかろうとしないものです。お友だちのいいところを見つけましょう。そして、いやだったことを忘れるというのも大切なことです。昔のことにいつまでもこだわるのではなく、未来の新しい出会いにむけて心を開いてください。昔、日本とアメリカは戦争でたくさん殺し合いをしました。自分の親や兄弟が戦争で死んでしまった人もたくさんいます。でも、過去の憎しみを忘れることで、日本とアメリカは仲良くお付き合いができています。覚えていることも大切ですが、忘れることも時には必要です。こんなことに気をつけて、みんなが仲良く生活できるようにしていきましょう。

チェコ日本友好協会第10回新年コンサートのお知らせ

日時：2017年1月28日(土) 午後3時～

場所：ルツェルナ宮殿マープルホール

共催：日本大使館・チェコ日本友好協会

出演：プラハ日本人学校児童生徒有志

チェコ放送局児童合唱団 Pavel Verner(オーボエ) Michael

Verner(ファゴット) Daniel Wiesner(ピアノ) 木村紗綾

(ヴァイオリン) 徳田振作(オーボエ) フィンダ志保子(フルート)



昨日の断水による臨時休校では、保護者の皆様にはお迎え等お手数をおかけいたしました。心より感謝申し上げます。

このコンサートは日チェコ国交回復60周年記念事業の一つです。

